

段丘砂金は 上述の河川流域や海岸にできた砂金層が隆起し 段丘を形成し その段丘中に砂金層をとまうもので カナダのユーコン川に沿う Klondike 地域の White river 礫層には多量の砂金がともなわれたといわれている。

埋没砂金は 地盤の沈下によりその上位に後期の砂礫層や 火山岩溶岩などで厚く被覆されているもので オーストラリアや カリフォルニアのシエラネバダ第三紀砂金層もこの種の例である。

このような砂金の採取にはどのような方法がとられたかを考えてみるに 最も原始的な方法は 砂金を含む土砂を流れに流して その川底にとどまった砂金を 松脂と油でねったモチを棒の先にくっつけてとるという“金釣り”や 現在でも原始的採金法としてとられている 桶掛けなどがある。

さらに 進んで 桶に むしろをしき 水を流して その目にとどまる砂金をとるという“ネコ”ながし法などが知られている。

最近の採金採取法としては 千葉あたりの砂鉄採取などに もちいられているような 水力法が普通で カリフォルニアのシエラネバダ第三紀砂金層はこの方法により かなり低品位のものまで稼行されている。

さらに 近代的なものとしては 浚渫法であって 砂金の含有されている川底などから 各種の浚渫機をつかって あたかも 砂利 砂の採取のように 採掘しその採取された鉱石を 水銀を充した格子板とか“ネコ”ながしの原理を利用したような器具をつかって 採鉱が行なわれており 興味深い。

今後の問題としては海底砂金なども 海底マンガン 海底ダイヤモンドと同様に採掘が行なわれることも多くなると思われる。

筆者は現在オーストラリア キャンベラ駐在員として海外出張につき この連載は筆者が帰国するまでしばらく中止させていただきます。

(筆者は 元所員 現金属鉱物探鉱促進事業団)



越前加賀海岸国定公園

地 学
と
切 手

堀 内 恵 彦

福井・石川の両県にまたがり 越前岬を軸として 北東および南東に「く」の字形に連なる海岸線の 敦賀市杉津から加賀市にいたる延長約 108km におよぶ部分と それに関連する地区を含む 総面積 97,852km² の地域が この公園です。

この景観の特色は 越前岬を中心にした 海食景観が主体ですが 全般的には断層と隆起による海岸で 北部は砂浜を主体とし 南部は海岸段丘が発達し 海食崖がみられます。この区域全般には 渡鳥が多く渡来し 越前岬周辺に自生するスイセンも特異なものです。

越前岬と丹生山塊・杉津から干飯崎の間は 甲楽城断層により作られた断層海岸で その北越前岬の間は 四か浦海岸と呼ばれ 断崖と岩礁の点在する眺めのよいところです。またこの付近から越前岬を経て 浜住に至る海岸線は 海岸段丘が発達しており 最大のもは 高低差 100m におよぶものもあります。越前岬の後背地は 丹生山塊と呼ばれ 隆起

沈降 断層 火山等による複雑な地形です。浜住の北 九頭竜河口の間約 12km の部分は 砂丘が連なり 三里浜と呼ばれています。

東尋坊付近・九頭竜河口の北西にあって 安山岩が海食作用によって作られた奇勝で 柱状節理の岩塊が 海中から直立し 海中40m 海上25mにもおよんでおり 壮観です。ここは むかし平泉寺の悪僧 東尋坊が突き落されたという伝説から呼ばれた名称です。この北約 1km の雄島は 柱状節理が傾斜しており また付近には大小の小島が点在し 越前松島と呼ばれております。

北 潟 湖 付 近・石川・福井の県境に 北東から南西に延びる細長い湖で 水郷情緒の豊かな所で 砂丘により作られた湖で 湖畔に 蓮如上人が北国布教の基地とした 吉崎御坊があり 本願寺派と 大谷派の寺院があり 有名な「嫁おどし」の肉付面が保存されております。

加賀市海岸・大部分は砂丘海岸で そのなかに 周囲 4.5kmの柴山潟(一名瓢湖)があり その西岸に片山津温泉があります。その近くには 木曾義仲と平家合戦の篠原古戦場があります。

以上が公園の概要ですが ここは将来ドライブ用の公園として整備される予定です。公園指定は 昭和43年5月1日 切手は四か浦海岸の景観で 本年1月27日の発行です。

(筆者は元所員 現日本科学技術情報センター)